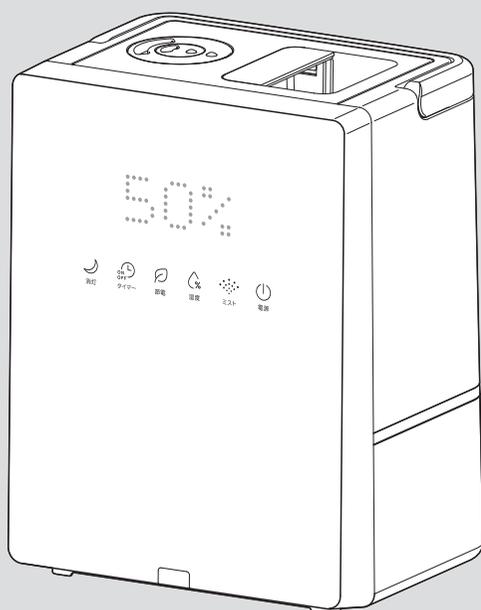


THREEUP

上部給水式ハイブリッド加湿器 「スクエアミスト」

HB-T2425

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1~3
パッケージ内容	3
別売品	3
仕様	3
各部のなまえ	4

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	5
設置について	5
水タンクに水を入れる	6

ご使用方法

運転する	7
停止する	7
ミスト量を切り替える	8
湿度を設定する	9~10
ミストの吹出方向を調節する	10
節電モードを設定する	11
オフタイマーを設定する	12
オンタイマーを設定する	13
消灯モードを設定する	14
水タンクの水がなくなると	14

点検・修理

お手入れと保管方法	15~17
コンセントの点検	17
故障かな?と思ったら	18
保証・サービス	裏表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、故障、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。



禁止

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口から給水しないでください。
故障や感電、水漏れの原因になります。

吹出口や吸気口、すき間にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。

- ・ケガや事故の原因になります。
- ・過熱による本体の変形、発火の原因になります。

ミストを故意に吸入しないでください。
健康を害する原因になります。



禁止

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。



接触禁止

運転中または運転停止直後は、超音波振動板やヒーター部に触れないでください。
やけどの原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。
異なる電圧での使用は故障、火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

警告

電源コードと電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだりしないでください。
- 損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る



必ず守る

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにミストが直接当たる場所には設置しないでください。シミや汚れの原因になります。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。結露による故障や雑音が入る原因になります。

踏み台にしたり、腰掛けたり、もたれかかったりしないでください。また、製品の上に物を置かないでください。転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。また、高所から落下すると、ケガや破損の原因になります。



禁止



禁止

水タンクと本体(水そう部)の水が凍結するような場所では使用しないでください。故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所(75%以上)では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててから移動してください。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

はじめに

⚠ 注意



禁止

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



必ず守る

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。



必ず守る

水タンクと本体（水そう部）の水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体（水そう部）に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
抗菌カートリッジ	1	—	—

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	商品単価（税込）
抗菌カートリッジ	1	1,320 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅23.5×奥行18×高さ30.5cm	本体重量	約1.9 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	135W（ヒーター OFF時：35W）	タンク容量	4.2 L
運転モード	加湿6段階（ヒーター含む）、 節電モード（ヒーター OFF）、 湿度設定：40～75%（5%単位）	加湿量	ヒーター+強：420mL/h、強：310mL/h ヒーター+中：320mL/h、中：210mL/h ヒーター+弱：200mL/h、弱：100mL/h
連続運転時間	約9時間（ヒーター+強）～ 約39時間（弱）	オン・オフタイマー設定	1～9時間（1時間単位）
加湿方式	ハイブリッド （超音波+PTCヒーター）	適用床面積（目安）	11畳（洋室、プレハブ）、 7畳（和室、木造）
機能	メモリー機能、減灯モード、消灯モード	安全装置	温度ヒューズ、水位感知センサー
コード長	約1.5 m	—	—

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 加湿量や適用床面積（目安）は、使用環境により異なります。

各部のなまえ

■ 本体

表示/操作部



ディスプレイ
湿度とオン/オフタイマー
の設定時間を表示します。



消灯



ON
OFF
タイマー



節電



湿度



ミスト



電源

消灯ボタン

タイマーボタン

節電ボタン

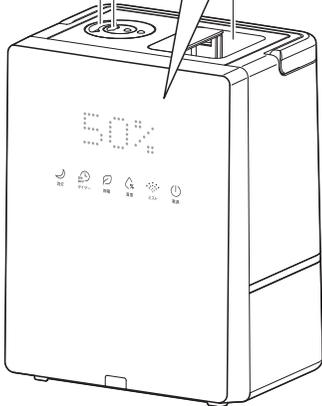
電源ボタン

ミストボタン

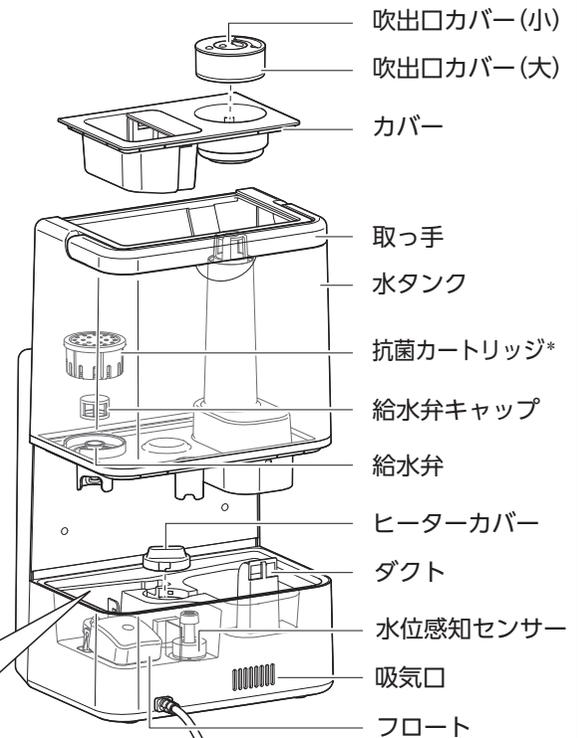
湿度ボタン

正面

吹出口 給水口

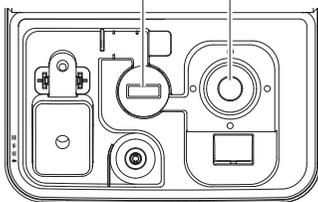


背面



本体(水そう部)

ヒーター 超音波振動板



電源プラグ

電源コード

* カートリッジ内部のセラミックボールが水タンク内の雑菌の繁殖を防止、浄化します。

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ 加湿方式について

- 節電モード「ECO」時の加湿方式 … 超音波式
超音波振動板によって水をミスト（霧状）にして、ファンで空気中に放出して加湿します。
- 節電モード「OFF」時の加湿方式 … 超音波式+ヒーター式
本体（水そう部）の水をヒーター部で加熱して加湿量を増やします。
ヒーター部周囲、本体（水そう部）の水は高温になりますので、触らないでください。

■ センサーについて

周囲湿度は、本体に内蔵されているセンサーが感知する湿度になります。

■ 水漏れについて

- ご使用の環境によって、まれに水漏れが起こる可能性があります。
 - ・ 水温0～6℃（厳冬時に注意）
 - ・ 暖房器具の近くで使用
- 床に水タンクを落下させた場合や衝撃を与えた場合に水タンクの接合部に小さな亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取扱いにはご注意ください。

■ 抗菌カートリッジについて

抗菌カートリッジの内部には、雑菌の繁殖を防ぐためのセラミックボールが入っています。約6か月に1個を目安に、新しい抗菌カートリッジと交換してください。週に2回以上すすぎ洗いをしてお手入れを行ってください。

■ ガスコンロの炎が赤やオレンジになる現象について

ガスコンロ付近で加湿器を使用すると、ミスト（水道水）に含まれるカルシウムや微量のアルカリ金属がガスコンロの炎と反応して、赤やオレンジになることがあります。窓を開け、換気しながらご使用ください。

■ 本体（水そう部）の汚れについて

本製品を長く使用すると、本体（水そう部）やヒーター、超音波振動板に汚れや白い粉が付着します。これらは水に含まれているミネラル分やカルキ、銹物成分などが結晶として現れるものです。加湿性能の低下や故障の原因になりますので、定期的にお手入れを行ってください。

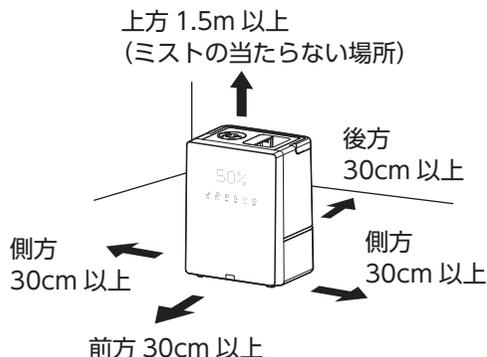
設置について

■ 設置条件

- ・ 製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- ・ 斜面や毛足の長い敷物の上など、不安定な場所には設置しないでください。

■ 安全装置

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。



水タンクに水を入れる

⚠ 注意



必ず守る

- 必ず水道水を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクと本体(水そう部)の水は毎日新しい水道水と入れ換え、常に清潔に保ち、定期的にお手入れしてください。
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。



禁止

次のような水は水タンクと本体(水そう部)に入れしないでください。

- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

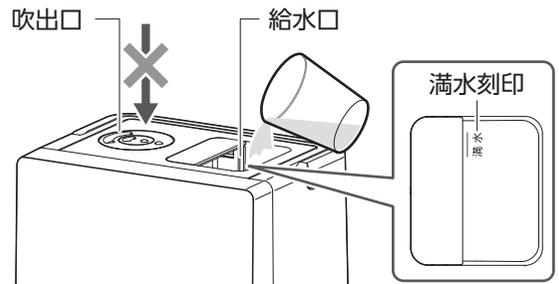
給水について

- 給水方法は、水タンクを本体に取り付けたまま給水する方法と、水タンクを取り外してから給水する方法があります。
- カバーの給水口にある「満水」刻印と、水タンク内にある「MAX」刻印を超えて水を入れないでください。

■ 水タンクに直接給水する場合

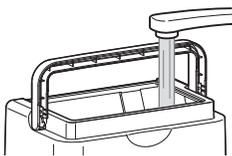
カバーの給水口から常温の水道水を入れます。
コップなどに水を入れ、カバーの給水口から注ぎ入れてください。

吹出口に水を入れないでください。
水漏れや故障の原因になります。

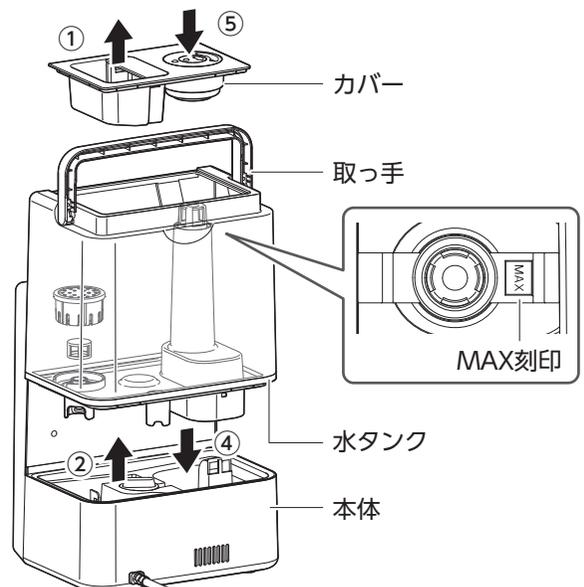


■ 水タンクを取り外して給水する場合

- ① 水タンクからカバーを取り外します。
- ② 本体から水タンクを取り外します。
水タンクの取っ手を持って取り外してください。
- ③ 水タンクに常温の水道水を入れます。
洗面所やお風呂場などで給水してください。



- ④ 本体に水タンクを取り付けます。
水タンクの取っ手を持って取り付けてください。
- ⑤ 水タンクにカバーを取り付けます。

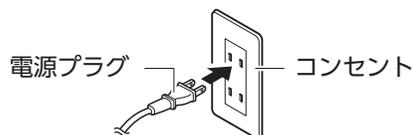


ご使用方法

運転する

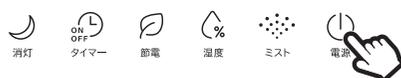
■ 運転のはじめかた

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴り、待機状態となります。



- ② 『電源』ボタンを押すと運転を開始します。
 - ボタンを押したときは“ピッ”と電子音が鳴ります。
 - 初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、ミスト量「弱」、節電モード「OFF」、湿度設定「OFF」の設定で運転を開始します。お好みにより設定を切り替えてください。

ディスプレイ表示 / 操作部



■ 運転中のディスプレイ表示について

- 運転中はディスプレイに周囲湿度を表示します。

メモ 周囲湿度は本体に内蔵されているセンサーが感知する湿度になります。

◎周囲湿度が高い、または低いときのディスプレイ表示

- ⇒ 周囲湿度が30%以下の場合、「Lo」と表示します。
- ⇒ 周囲湿度が80%以上の場合、「Hi」と表示します。

- ディスプレイの点灯/点滅と消灯は、設定や状態にあわせて切り替わります。詳細は各運転モードの説明をご確認ください。

減灯機能

ディスプレイ表示は操作しない状態が1分間続くと減灯します。

停止する

■ 運転の止めかた

運転中に『電源』ボタンを押すと“ピーッ”と電子音が鳴って、ディスプレイ表示が消灯して運転を停止します。

運転停止後に内部冷却のため約30秒間送風運転を行います。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オン・オフタイマー設定は除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

⚠ 注意



必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

ご使用方法

湿度を設定する

40% ~ 75%の範囲で5%単位で湿度を設定できます。

周囲湿度が設定した湿度に達すると自動で運転を停止し、周囲湿度が下がると運転を再開します。

■ 湿度設定のしかた

- ① 運転中に『湿度』ボタンを押します。

ディスプレイが周囲湿度表示から設定表示に切り替わり、設定中の湿度を約3秒間点灯表示します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの湿度設定は「Cn%」になります。



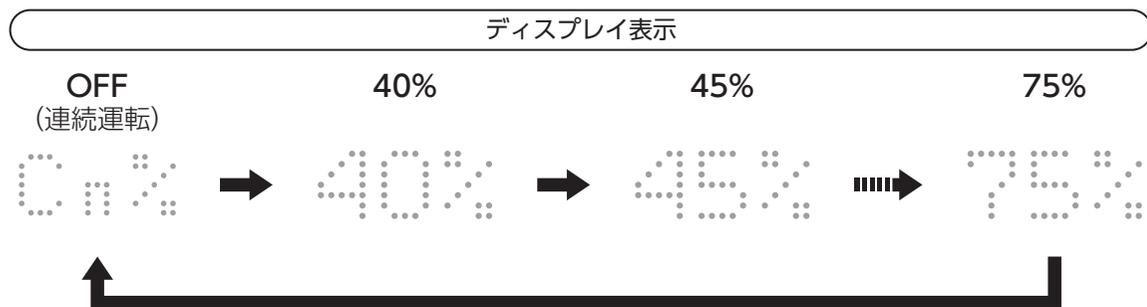
- ② 設定湿度の表示中にもう一度『湿度』ボタンを押すと、設定湿度が切り替わって点滅します。

点滅中に『湿度』ボタンを押して湿度を設定します。

『湿度』ボタンを押すたびに5%単位で湿度表示が切り替わります。

ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。

点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた湿度で設定されます。



- ③ 湿度を設定したあと、ディスプレイが点滅表示から周囲湿度の点灯表示に切り替わると、設定湿度に達するよう加湿運転を開始します。

- 設定湿度が周囲湿度よりも低いときは、運転が開始されません。設定湿度が周囲湿度よりも高くなるように変更してください。
- 周囲湿度が設定湿度に達すると、運転を停止し、約30秒送風運転したあとに待機状態となります。周囲湿度が設定湿度より低くなると、自動で運転を再開します。

■ 湿度設定中のディスプレイ表示

湿度設定中は、ディスプレイに周囲湿度を表示して運転します。
設定湿度を確認したいときは、『湿度』ボタンを押すと約3秒間設定湿度を表示します。

■ 湿度設定の解除のしかた

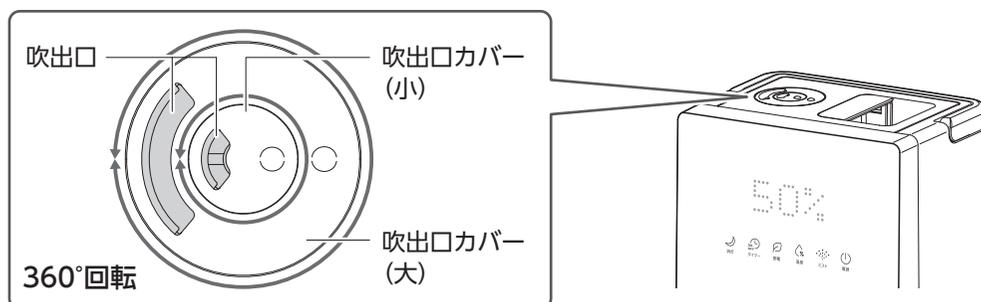
『湿度』ボタンを繰り返し押し続けて設定を「Cn%」にすると、湿度設定が解除されて連続運転に切り替わります。

ミストの吹出方向を調節する

■ 調節のしかた

吹出口カバー（大）と吹出口カバー（小）を回転させて、ミストの吹出方向を調節します。

- 吹出口カバー（大）と吹出口カバー（小）は、360°回転させることができます。
それぞれの吹出口カバーに指先を押し当てて回転させてください。
- 吹出口カバー（小）は取り外せません。



ご使用方法

節電モードを設定する

本体(水そう部)の水を温めるヒーターのON/OFFを切り替えます。
ヒーターをOFFにすると節電(消費電力を抑える)することができますが、加湿量は少なくなります。

警告



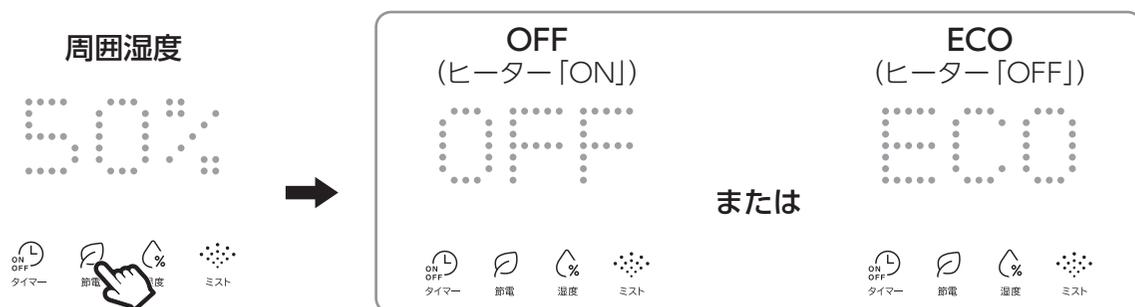
接触禁止

節電モードの設定中と節電モードの解除直後は、ヒーター部に触れないでください。
やけどの原因になります。

■ 節電モードの設定と解除のしかた

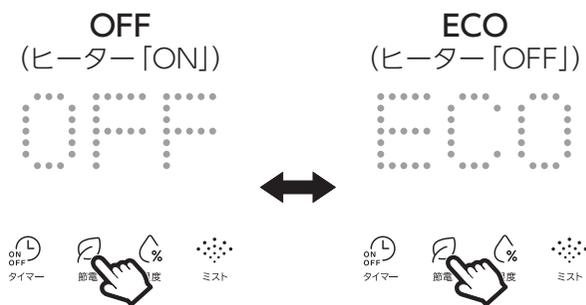
- ① 運転中に『節電』ボタンを押します。
ディスプレイが周囲湿度表示から設定表示に切り替わり、「OFF」または「ECO」を約3秒間点灯表示します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの設定は「OFF」になります。

ディスプレイ表示 / 操作部



- ② 設定表示中にもう一度『節電』ボタンを押すと、設定が切り替わって点滅します。
点滅中に『節電』ボタンを押してヒーターのON/OFFを設定します。
『節電』ボタンを押すたびに「OFF」と「ECO」が切り替わります。
ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた湿度で設定されます。

ディスプレイ表示 / 操作部



- ③ ヒーターのON/OFFを設定したあと、ディスプレイが点滅表示から周囲湿度の点灯表示に切り替わると、設定した節電モード運転を開始します。

■ 節電モード設定中のディスプレイ表示

節電モード設定中は、ディスプレイに周囲湿度を表示して運転します。
設定を確認したいときは、『節電』ボタンを押すと約3秒間設定を表示します。

オフタイマーを設定する

1～9時間の範囲で1時間単位で設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーの設定のしかた

① 運転中に『タイマー』ボタンを押します。

ディスプレイが周囲湿度表示から設定表示に切り替わり、設定時間を約3秒間点灯表示します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの設定時間は「-H」になります。

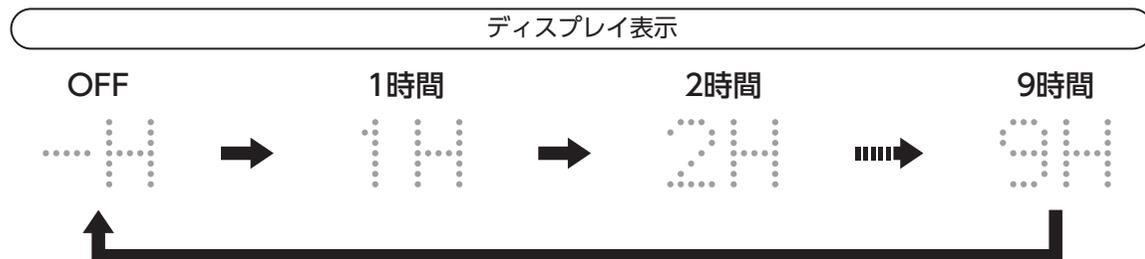


② 設定時間の表示中にもう一度『タイマー』ボタンを押すと、設定時間が切り替わって点滅します。

点滅中に『タイマー』ボタンを押して停止時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で設定時間が切り替わります。

ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。

点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた設定時間で設定されます。

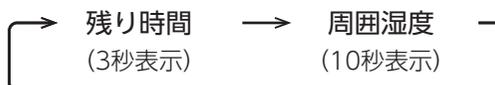


③ 停止時間を設定したあと、ディスプレイが点滅から周囲湿度の点灯表示に切り替わると、設定完了となります。

④ 設定した時間が経過すると運転を停止します。

■ オフタイマー設定中のディスプレイ表示

- ・オフタイマー設定中は、次のように繰り返し表示します。
- ・残り時間は1時間経過するたびに切り替わります。



■ オフタイマーの解除のしかた

オフタイマーを解除するときは、設定時間が「-H」になるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押します。
ディスプレイが点滅から周囲湿度表示に切り替わると、解除完了となります。

メモ オフタイマーとオンタイマーを同時に設定することはできません。

ご使用方法

オンタイマーを設定する

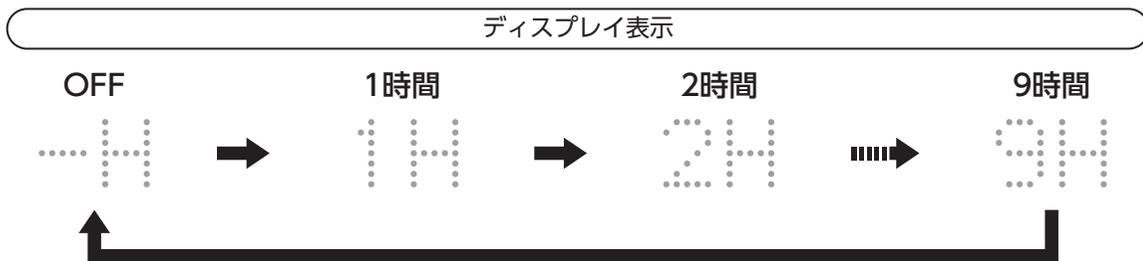
1～9時間の範囲で1時間単位で設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイに設定時間を約3秒間点灯表示します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの設定時間は「-H」になります。



- ② 設定時間の表示中にもう一度『タイマー』ボタンを押すと、設定時間が切り替わって点滅します。
点滅中に『タイマー』ボタンを押して開始時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに1時間単位で設定時間が切り替わります。
ディスプレイ表示の点滅時間は約5秒間です。
点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた設定時間で設定されます。



- ③ 開始時間を設定したあと、ディスプレイが点滅表示から点灯表示に切り替わると、設定完了となります。
- ④ 設定した時間が経過すると運転を開始します。

■ オンタイマー設定中のディスプレイ表示

- ・オンタイマーの設定中は、運転開始までの時間を表示します。
- ・残り時間は1時間経過するたびに切り替わります。

■ オンタイマーの解除のしかた

オンタイマーを解除するときは、ディスプレイの表示が「-H」になるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押しするか、『電源』ボタンを押します。

『電源』ボタンを押すと運転を開始して、オンタイマーの設定はリセットされます。

消灯モードを設定する

就寝時などに運転させたまま表示を消灯することができます。

■ 消灯モードの設定と解除のしかた

運転中に『消灯』ボタンを押すと、ディスプレイ表示が消灯します。

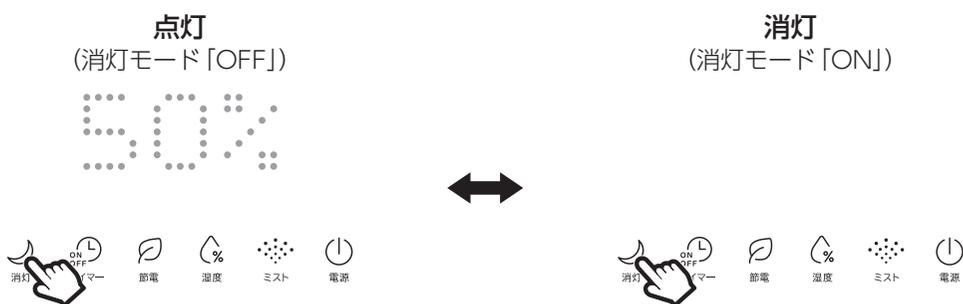
もう一度『消灯』ボタンを押すと、ディスプレイ表示が点灯します。

- 消灯モード設定中に『消灯』ボタン以外のボタンを押すと、周囲湿度を約3秒間点灯表示します。
- 消灯モード設定中に水がなくなると、次の項目の「給水のお知らせ」と同じ表示に切り替わります。

メモ

消灯モード設定中に電源を切る場合は、消灯モードを解除して電源ボタンを押すか、消灯モード設定中に『電源』ボタンを連続で2回押してください。

ディスプレイ表示 / 操作部



■ 消灯モード設定中の設定変更のしかた

- ① 設定変更する動作のボタンを押すと、ディスプレイに押したボタンの設定値を約3秒間点灯表示します。
- ② 設定変更する動作のボタンをもう一度押すと、設定値が切り替わって点滅します。ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。点滅中に設定を切り替えてください。
- ③ ディスプレイに周囲湿度を約3秒間点灯したあと消灯すると、設定変更が完了となります。

水タンクの水がなくなると

■ 給水のお知らせ

水タンクの水がなくなると、“ピーッピーッピーッピーッ”と電子音が鳴って、自動で運転を停止します。

同時にディスプレイの表示が「-」に切り替わります。

引き続きご使用になる場合は、水タンクに給水したあとに『電源』ボタンを押して電源を切り、もう一度『電源』ボタンを押してください。

ディスプレイ表示 / 操作部



運転中に水タンクを取り外すと…

運転中に水タンクを取り外すと運転を停止し、給水のお知らせと同じ表示になります。

引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押して電源を切り、もう一度『電源』ボタンを押してください。

メモ

消灯モード設定時に水がなくなったときは電子音は鳴りません。

お手入れと保管方法

警告



必ず守る

- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やケガの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてから行ってください。やけどの原因になります。

注意



必ず守る

長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体（水そう部）に残った水を捨ててください。

- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- 水タンクと本体（水そう部）に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

各部のお手入れは週に2回以上行ってください。

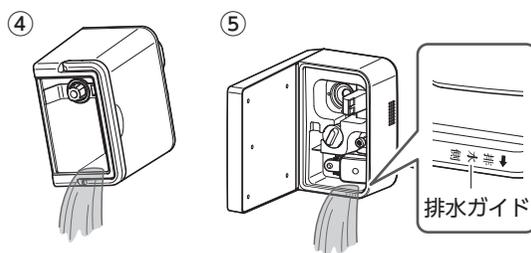
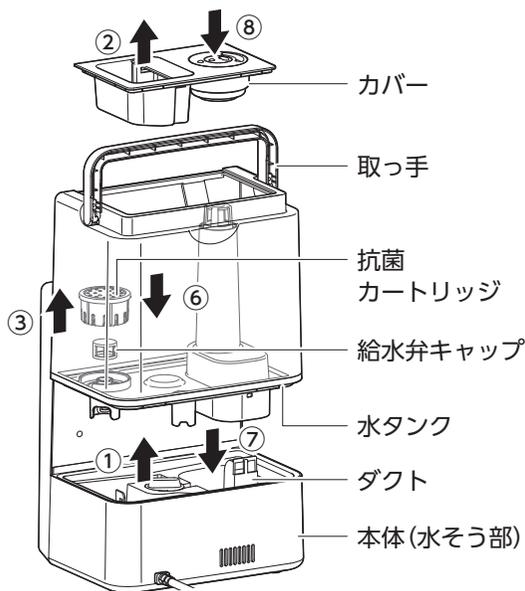
■ 水の捨てかた

- ① 水タンクからカバーを取り外します。
- ② 本体から水タンクを取り外します。
水タンクの取っ手を持って取り外してください。
- ③ 水タンクから抗菌カートリッジと給水弁キャップを取り外します。
- ④ 水タンクに残った水を捨てます。
- ⑤ 本体（水そう部）に残った水を捨てます。

注意

- 排水ガイドから水を捨ててください。
- 節電モード「OFF」の運転停止直後は、本体（水そう部）の水が冷めてから水を捨ててください。
- ダクトから本体内に水が入らないようご注意ください。
水漏れや故障の原因になります。

- ⑥ 抗菌カートリッジと給水弁キャップを水タンクに取り付けます。
- ⑦ 水タンクを本体（水そう部）に取り付けます。
- ⑧ 水タンクにカバーを取り付けます。



■ 本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。

仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

● 本体 (水そう部) のお手入れ

歯ブラシなどの柔らかいものでこすって汚れを落としてください。

- 金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。
- ヒーター部、超音波振動板の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。
- ヒーター部のお手入れ時はヒーターカバーを取り外してください。

注意 節電モード「OFF」の運転停止直後はヒーター部が高温になっているため、直接触れないでください。

● ヒーターカバーの取り外しかた

ヒーターカバーを反時計回りに止まるまで回し、持ち上げて取り外します。

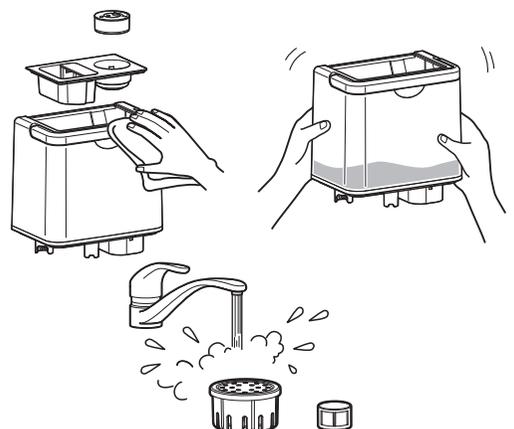
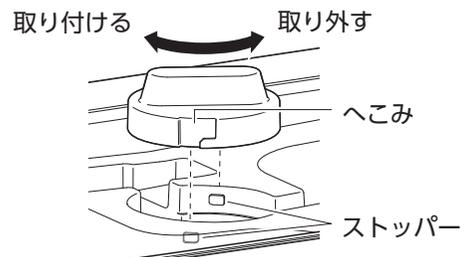
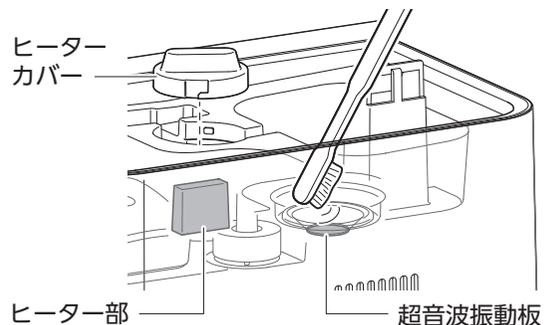
● ヒーターカバーの取り付けかた

ヒーターカバーのへこみとストッパーを位置をあわせて取り付け、時計回りに止まるまで回して取り付けます。

■ 水タンク、カバー、吹出口カバーのお手入れ

- 本体と同様のお手入れをしてください。
- 水タンクの内側は少量の水を入れて軽く振り洗いして水を捨てます。汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。
- 抗菌カートリッジと給水弁キャップは水タンクから取り外し水洗いしてください。

メモ 抗菌カートリッジは約6か月を目安に交換してください。



■ 保管方法

- 水タンクと本体（水そう部）の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

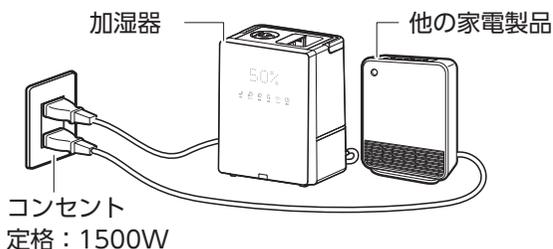
コンセントの点検

● コンセントなどの配線器具には寿命があります。

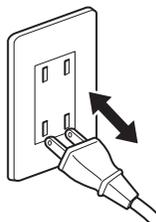
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

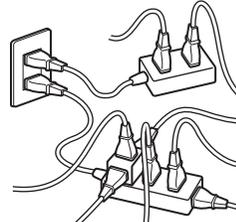
✕ 定格容量いっぱいで使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする

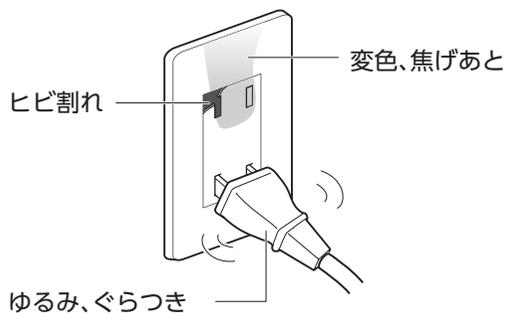


✕ タコ足配線する



● 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
 - 電源プラグやコンセントが熱い。
 - 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
 - 表面が変色、焦げあとがある。
- そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因となります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 『電源』ボタンを押していない。 湿度の設定時に、周囲湿度が設定湿度を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 設定湿度が周囲湿度よりも高くなるように変更してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水がなくなった。 オフタイマーが作動して停止した。 湿度設定中に、周囲湿度が設定湿度よりも高くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 水がなくなるとディスプレイに「-」と表示されて警告音が鳴ります。水タンクに給水してください。 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。 周囲湿度が下がるまでお待ちいただくか、連続運転でご使用ください。
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク、本体(水そう部)などが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> 適用床面積を超えた部屋で使用している。 部屋の窓やドアが開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適用床面積内でご使用ください。 窓やドアを閉めてご使用ください。
本体付近が濡れる、または周囲湿度が高い	<ul style="list-style-type: none"> 過加湿状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ミスト量を少なく調節する、ミストの吹出方向を調節する、または節電モード「ECO」に切り替えてください。
本体から“カチッ”と音がする	<ul style="list-style-type: none"> 節電モードの設定を変更したときにヒーターが作動または停止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体内部のヒータースイッチの作動音になります。異常や故障ではありません。
運転を停止しても吹出口から風がでている	<ul style="list-style-type: none"> 節電モード「OFF」運転を停止した直後である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転を停止したあとは、内部冷却のため送風運転を行います。
表示が消えている	<ul style="list-style-type: none"> 消灯モードを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 『消灯』ボタンを押すと点灯します。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。